東(こ)風(ち)

〒070-8014 旭川市神居4条19丁目 Tel:0166-61-8298

旭川市立神居東中学校
元年度学校だより
No. 9
12月23日（月）発行
発行責任者 教頭：小嶋

「目標に向かって，自ら『節』をつくって成長しよう！」

校長　森田聖吾（もりた せいご）

月日の経つのは早いもので今年もあと８日となりました。あちこちで点灯されているイルミネーションの彩る輝きに，今年もカウントダウンが始まったんだなあと少し名残惜しい気持ちになります。

12月５日の全校集会では，生活常任委員会と図書常任委員会から学校生活をよりよくするための活動についての発表がありました。学校は集団で生活をする場であり，「自分さえよければ」と考えず，みんなにとって居心地のよい空間にするためのルールやマナー，学校生活の向上を図るための活動などを大切にしています。委員会活動は，その根幹となるものであり，これからも**「学校のため，人のため，自分のため」**に知恵を絞り，仲間と協働して励んでほしいものです。

また，12月15日には**「第27回全国中学校駅伝大会（滋賀県）」**に女子チームが２年連続で出場してきました。大会直前に，全道大会で１区の区間賞に輝いた鈴木選手の疲労骨折が判明し，急遽，幅跳び専門の山田選手が加わるという，厳しい試練に見舞われましたが，泉主将を中心に**「ワンチーム」**で**タスキ**をつなぎました。北海道勢最高順位の夢は来年に託されましたが，６名の選手は本校の誇りです。

このように，今学期も学習活動や委員会活動，部活動などに真剣に取り組んでいる皆さんの姿をたくさん見てきました。学校のスローガンである**『挑戦』**と**『協働』**を具現化（実行）し，成果を着実に残した**「東中生」**を頼もしく思っております。

さて，本日の終業式には，**「目標に向かって，自ら『節』をつくって成長しよう」**という話をさせていただきましたので，その概略を紹介します。

竹は，きちんと**「節」**があって初めて真っ直ぐに**「しなやか」**に伸びていきます。風が吹くとぐっとしなり，ざざざざと音を立ててゆっくり元に戻ります。大木のようにどっしりとはしていませんが，草のように風まかせというわけでもありません。

人は，強い風にもどっしりと構えている大木のようであればすごく疲れます。**しなやか**で芯の通った竹のようであれば，風に倒されたり疲れたりしません。

竹は，自然の理にかなって地中から顔を出し，すべて自分の意志で，**「節目」**をつくって枝を出し成長します。この節目は，次の成長に欠かせないものであり，その**「節」**があることで，強く**しなやか**に上に伸びていけます。

この後，３年生は高校入試を控えています。アルペンとクロスカントリースキー，男子・女子バスケットの選手は全道大会です。このような大きな節目には，否が応でも**これまで以上の努力**や**強い心**が求められます。それは，乗り越えなければならない**「壁」**だからです。そういった壁にぶつかって苦労する経験が一つ，また一つと**「節目」**をつくり，やがて**しなやか**でしっかりした芯ができあがります。

さあ，冬休みにやるべきことは何ですか。自分の**課題**と**新たな目標**を明らかにし，一つ一つ**「成長の節目」**を刻み，自信を高めながら23日間を過ごしてください。毎日のがんばりが明日につながり，その積み重ねが**目標**を達成します。

結びにあたり，今学期も保護者や地域の皆様には，本校の教育活動への深いご理解と温かいご支援をいただき，誠にありがとうございました。また，保護者の皆様には，この年末年始の機会に，お子様と一緒に2019年はどんな１年だったのかを振り返り，2020年をどんな年にしたいのかをゆっくりと話し合っていただくとともに，お子様の**「成長の節目」**を見逃さずにお声をかけていただければ幸いです。

新しい年もどうぞよろしくお願いいたします。